次回は、R8年11月24日火曜日の発行です。

週間漁海況情報　2026年第44号

令和8年11月17日発行

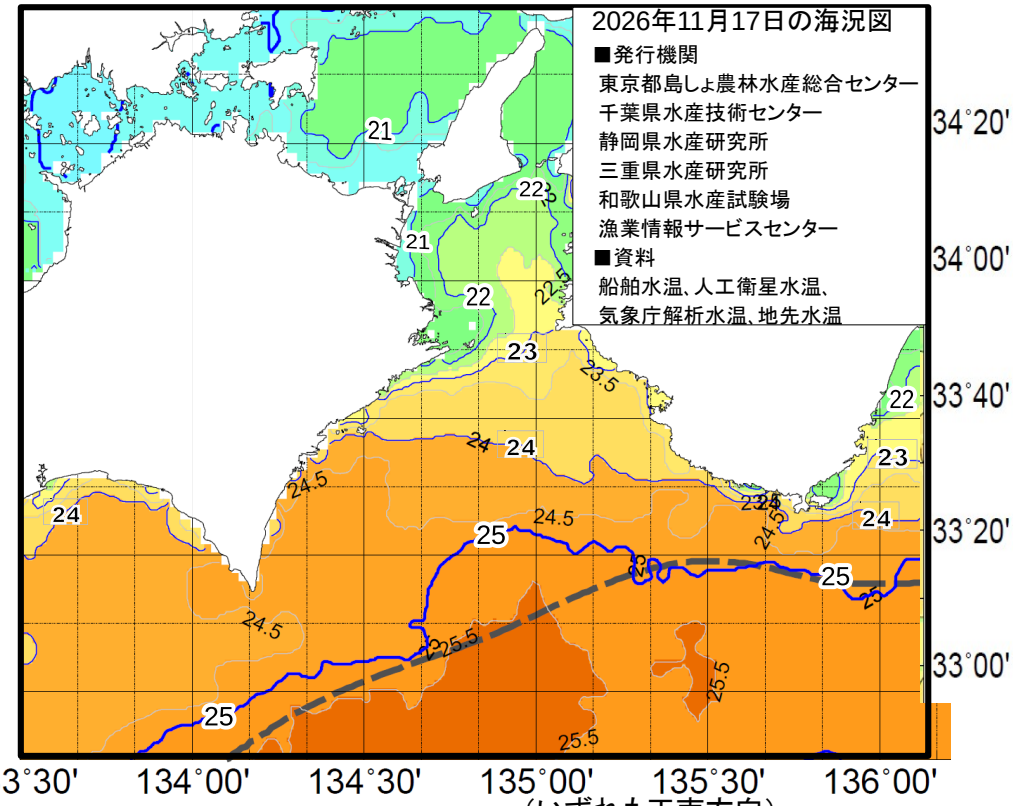
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖40マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は24～25℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で20～21、紀伊水道で20～22、海部沿岸で22～24℃台となっている。



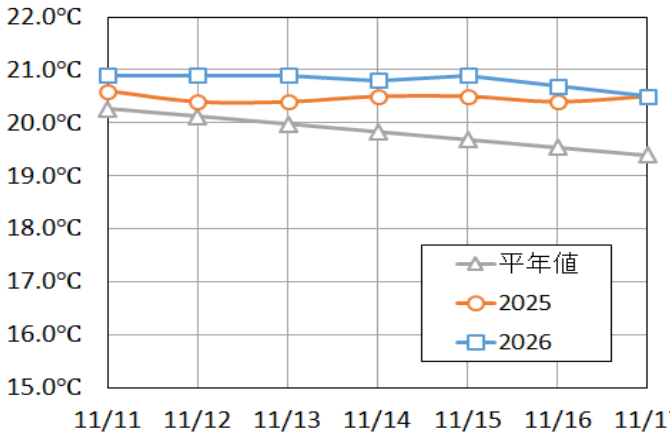
※黒潮の離接岸の表現　（いずれも正南方向）
　室戸岬沖　接岸：～25NM　やや離岸：25～45NM　離岸：45～65NM　著しく離岸：65NM～
　潮岬沖　　接岸：～26NM　やや離岸：26～56NM　離岸：56～86NM　著しく離岸：86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

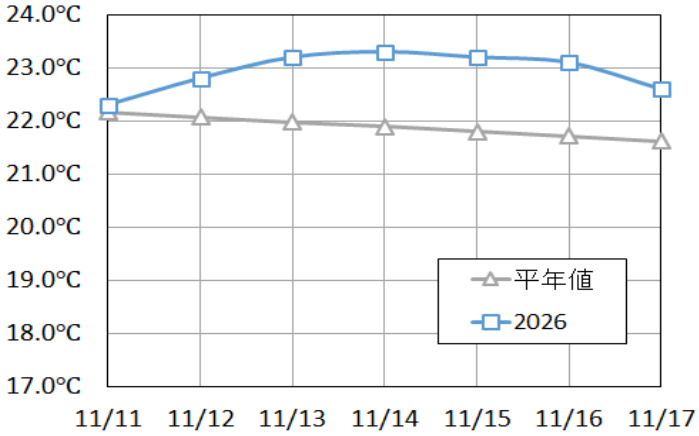
2. 地先水温（11月11日～11月17日）

鳴門地区の水温は、20.9～20.5℃で「やや高め」で推移。浅川地区は、23.3～22.6℃で「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、1.4～2.5℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低　平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
　高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃ 以上
※平　年　値　1984年～2022年（鳴門）、2018年～2022年（浅川）の平滑平均値（いずれも日平均水温を使用）

3. 週間予報（11月18日～11月24日）

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「やや高め」で推移する見込み。

漁況（11月9日～11月15日）

１．紀伊水道（標本漁協：４）
船びき網では、シラスが大きく増えて10.6ﾄﾝ水揚げされた。
延縄では、サワラが大主体に2.2ﾄﾝ水揚げされた。
底びき網では、クマエビが2.7ﾄﾝ、タチウオが大きく増えて1.6ﾄﾝ、
ハモが増えて中主体に1.4ﾄﾝ、かます類が大きく増えて0.5ﾄﾝ、
イボダイが大きく増えて0.4ﾄﾝ、コウイカが減って小主体に0.4ﾄﾝ、
モンゴウイカが0.3ﾄﾝ水揚げされた。
小型定置網では、カンパチが減って大主体に0.9ﾄﾝ、イサキが増えて大主体に0.6ﾄﾝ、
ころだい類が大きく増えて大主体に0.4ﾄﾝ水揚げされた。

２．海部沿岸（標本漁協：４）
釣りでは、キハダが大きく増えて0.8ﾄﾝ、カマスサワラが大きく増えて0.3ﾄﾝ水揚げされた。
延縄では、アカムツが増えて0.5ﾄﾝ水揚げされた。
小型定置網では、ヒラソウダが大きく増えて0.6ﾄﾝ水揚げされた。
大型定置網では、マルソウダが大きく増えて0.8ﾄﾝ、
ヒラソウダが大きく増えて0.7ﾄﾝ水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数（のべ）	魚種	漁獲量 (kg)	1日1隻あたり平均漁獲量	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	69	シラス	10,557	153		↗↗
	延縄	65	サワラ	2,209	34	大主体	→
	底びき網	36	クマエビ	2,708	75		→
		34	タチウオ	1,570	46		↗↗
		36	ハモ	1,443	40	中主体	↗
		36	かます類	522	14		↗↗
		36	イボダイ	401	11		↗↗
		35	コウイカ	359	10	小主体	↘
		35	モンゴウイカ	337	10		→
	小型定置網	18	カンパチ	908	50	大主体	↘
		13	イサキ	605	47	大主体	↗
		15	ころだい類	362	24	大主体	↗↗
海部沿岸	釣り	12	キハダ	808	67		↗↗
		11	カマスサワラ	314	29		↗↗
	延縄	25	アカムツ	464	19		↗
	小型定置網	12	ヒラソウダ	553	46		↗↗
	大型定置網	3	マルソウダ	801	267		↗↗
		3	ヒラソウダ	698	233		↗↗

※ 前週比　200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘